

令和8年度

表現力・総合型

入 学 試 験 問 題

試 験 I

8：40～9：30

注 意

- 1 この問題用紙は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 解答用紙は2枚あります。それぞれに受験番号・氏名を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 4 印刷がわからない場合は申し出ること。
- 5 試験終了^{しゅうりょう}の合図でやめること。
- 6 問題は各自持ち帰ること。

品川女子学院中等部

(ちいさな美術館の学芸員『忙しい人のための美術館の歩き方』より)

- 注1 「スクリーニング調査」……本調査の対象を選ぶために、本調査の前に実施する事前調査。
- 注2 「ハレ」……日常を離れて特別であること。
- 注3 「映え」……見栄えよく、美しく見えること。
- 注4 「ニーズ」……要求、需要、必要。
- 注5 「顕在化」……隠れていた問題や状況が、はっきりと表面にあらわれること。
- 注6 「バッシング」……非難すること。
- 注7 「ゾーニング」……区分けすること。

問1 — 線①「必ずしもそうとは言えない」とありますが、それはなぜですか。最も適切と思われるものを次の中より一つ選び、記号で答えなさい。

ア、時間の充実が重視されるようになり、現代人が自分の自由な時間を過ごすようになったから。
イ、働き方改革によって、昔の人たちよりも現代人のほうが労働外の時間が増えたといえるから。
ウ、現代の問題に対応していくために、現代人の労働時間の長さが問題になるようになったから。
エ、働き方への価値観が少しずつ変わっていき、現代人が時間を有意義に使うようになったから。

問2 — 線②「来館者のメイン層がはっきりと二極化している」とありますが、これを説明したものとして最も適切と思われるものを次の中より一つ選び、記号で答えなさい。

ア、「20代前半の女性」「シニア世代の男性」が来館者のメイン層である。
イ、男女差なく、「現役世代」「シニア世代」だけが来館者のメイン層である。
ウ、「20—29歳」「40—49歳」の現役世代が来館者のメイン層である。
エ、現役世代ではない「就職前」「退職後」の世代が来館者のメイン層である。

問3 — 線③「子育て中の親が抱える悩み」とありますが、これが生じる原因は何であると筆者は考えていますか。文章の中から34字でぬき出し、最初の5字を答えなさい。

問4 後に掲載する資料は、埼玉県が2023年に実施した「県立博物館・美術館の利用について」というアンケートです。これらの内容をふまえた説明として適切でないものを次の中より二つ選び、記号で答えなさい。

ア、博物館・美術館を利用したことがある人のほうが少数派であり、さらに実際に利用したことがある人でさえその頻度は少ないため、全体的な博物館・美術館の利用の少なさをうかがうことができる。

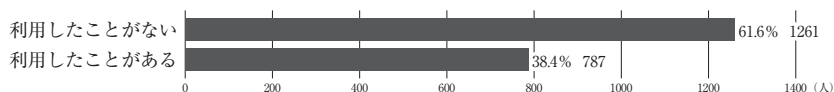
イ、博物館・美術館は企画展示や特別展示を観るために利用する人が多く、一方で見たい展示や参加したいイベントがないために博物館・美術館を利用しない人が多いため、魅力的な企画やイベントも大切な要因であることがわかる。

ウ、博物館・美術館の利用頻度が上がらないことの主な理由は、利用目的が観光である割合が高いからであるため、旅行の頻度の高さによって博物館・美術館の利用の頻度の高さが変化するということがわかる。

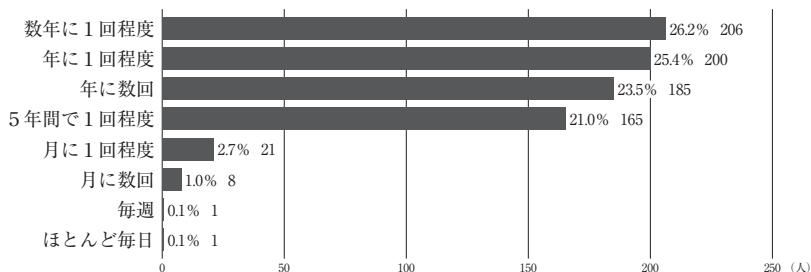
エ、博物館・美術館自体の認知度や興味は比較的高いことがわかるが、時間がないことによって足を運ぶ人が少なくなってしまうため、博物館・美術館の努力だけでは来館数を増やすことが難しいということがわかる。

オ、学校行事などでの博物館・美術館の利用は非常に少なく、かつ子供を対象とした体験型イベントなどの利用も少ないため、子供に対するアプローチによって来館数を増やすことができる可能性があることがわかる。

〔質問 1〕あなたはコロナ禍^か以前の 5 年間（2015 ～ 2019 年）で埼玉県立の博物館・美術館等を利用したことがありますか。

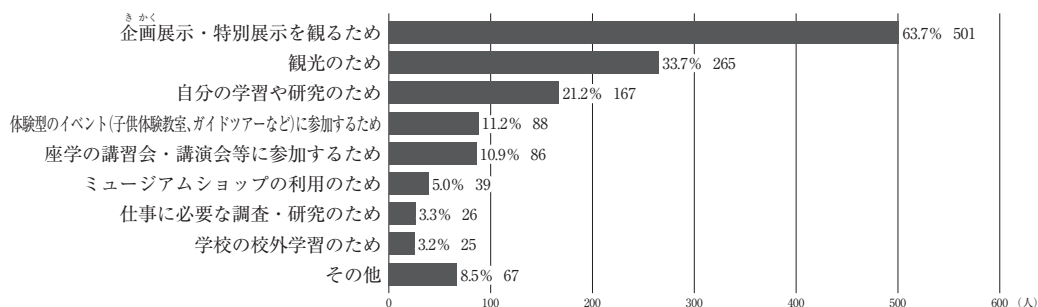


〔質問 2〕あなたはコロナ禍以前の 5 年間（2015 ～ 2019 年）で埼玉県立の博物館・美術館等をどのくらいの頻度で利用しましたか。

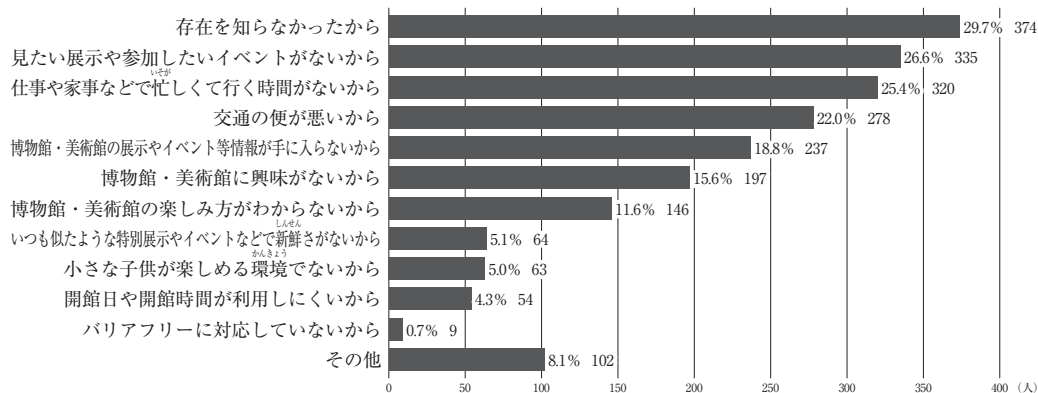


〔質問 3〕（質問 1 で「利用したことがある」と回答された方に質問します）

あなたはどのような目的で埼玉県立の博物館・美術館等を利用しましたか。【あてはまるものすべて】



〔質問 4〕（質問 1 で「利用したことがない」と回答された方に質問します）コロナ禍以前の 5 年間（2015 ～ 2019 年）で埼玉県立の博物館・美術館等を利用しなかった理由を教えてください。【あてはまるものを 3 つまで】



第 223 回簡易アンケート「県立博物館・美術館の利用について」をもとに作成
<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2216/questionnaire.html>

問5 本文では、「時間があつても美術館に行かない」ということを問題としています。この問題は、時間をかけて芸術な

どを鑑賞^{かんしょう}しても求めている成果を効率よく得られないと考えてしまう現代人の姿勢からきていると、この本の続きで筆者は述べています。筆者が美術館に足を運ぶことを勧める^{すす}背景には、仕事や勉強の成果を効率よく得るのは「別の意味」を持つ、さまざまな体験の大切さがあると考えられます。このような体験の例をあげ、そこから得られる「別の意味」とは何かについて、あとの条件にしたがつて書きなさい。

【条件】

- 1、「仕事や勉強の成果を効率よく得るのは「別の意味」を持つ体験の例を書くこと。
- 2、「別の意味」とは何かについて触^ふれること。
- 3、「条件2」が「人生においてなぜ大切か」に触れること。
- 4、原稿用紙の使い方に沿って書くこと。
- 5、200字程度で書くこと。

This image shows a full page of graph paper. It features a uniform grid of small squares created by dashed horizontal and vertical lines. The grid covers the entire area of the page, leaving no margins or other markings.

20